

令和4年度 第2回 吹田市企画会議概要

日 時：令和4年（2022年）8月22日（月）午後1時00分～午後2時05分
 場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室
 出席者：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、今峰行政経営部長、
 清水都市計画部長、舩木土木部長
 所 管：【都市計画部（資産経営室）】
 伊藤理事、古谷室長、上野参事、檀野参事、隅田主幹

案 件	北千里小学校跡地等（北東側）の利活用の方向性について
担当及び関連部局	都市計画部（資産経営室）
<p>【案件概要】 北千里小学校跡地及び北千里保育園跡地のうち、現在利活用の方針が未定の北東側の土地について、市が継続保有すること及び周辺施設との連携や相乗効果が期待されるよう整地・植栽等を行い、有効に利活用することについて方向性を確認するもの。</p>	
<p>【所管部の考え方】 北千里小学校跡地及び北千里保育園跡地の北東側の土地（以下「対象地」という。）については、これまで、サウンディング型市場調査及び市民アンケートを実施し、利活用の方針について調査・検討を進めてきたところである。周辺環境等を踏まえて、地域住民等のコミュニティ・交流が増進され、複合施設等と連携したにぎわいを創出する目的のもと、広場のような公的な空間として整備する方向性を確認したい。今後、整備に向けた必要な手続きを進めるとともに、一部を民間事業者に貸付けることについて検討を進めていく。</p>	
<p>【質疑概要】 質問： 整備しようとしている場のイメージはどのようなものか。 回答： まず、整地の上で植栽等を行い、建物の整備も伴った形で、交流やにぎわいの創出を展開するものである。イメージとしては、公園の中に収益施設を設置するような形を想定している。 指示： 今後、市民への説明等をしていくと思われるので、整備したい形をイメージできるように明確にしておくこと。 要望： 周辺施設との連携や相乗効果を実現するためには、当該部分だけでなく、複合施設、保育施設及び高齢者施設などの周辺施設を一体的に見て、どのような整備の形が必要なのかを今一度考えてほしい。 質問： 北千里駅前の再整備との関係はどのように考えているのか。 回答： 駅前再整備は商業中心であり、用途地域が異なり、駅前とは別のゾーンである。エリア一帯として考えると、対象地を公的な空間として活用することは、まちづくりとしてバランスが取れていると考える。今後も、ソフト面では周辺環境との</p>	

連携を取りながら、北千里周辺のまちづくりにふさわしい活用を図っていきたい。

意見： 今後進められようとしている駅前再整備との関連では、再整備対象エリア外ではあるものの、一帯のまちづくりが全体として調和がとれたものとなるよう考慮していくべきと考える。将来的には、再整備の進捗状況やその内容、今後の社会情勢等も踏まえ、場合によっては、対象地の利活用の方向性を改めて検討すべき可能性も考えられる。整備にあたっての経費積算においては費用対効果を踏まえしっかりと精査してほしい。

意見： 市が保有を継続し、アンケートやサウンディング調査の結果を踏まえた形で、交流スペースとして活用していくことは、複合施設との連携も含め、付近一帯のまちづくりに資するものであり意義はあると考える。

【結果】

本案件については、承認された。会議で出た指示、意見を踏まえ、必要な手続きや取組を進めること。